

## 特集

「臨床判断モデル」のさらなる展開  
基礎教育から臨床、訪問看護の現場まで

## 「臨床判断モデル」の意義を再確認する

三浦友理子

## 教育理念をとらえなおし、カリキュラムを考える

久志篤子

シミュレーション教育における「臨床判断モデル」の活用  
小児看護学領域の実践から

福富理佳

## 「臨床判断モデル」臨床での活用にあたって

宇都宮明美

## 「解釈」を言語化して伝える意義 救急外来の経験から

古屋真理子

## 【対談】訪問看護の教育の課題

岩本大希／小瀬古伸幸

## 【座談会】新たな臨床判断モデルの可能性を検討する

根岸まゆみ／細田泰子／三浦友理子／奥裕美

## 焦点

ヘンダーソンと小玉先生 [前編] ..... 吉田みつ子

## 巻頭インタビュー

Message from Overseas 海外からのメッセージ

クリスティーン・タナー先生

## 連載

この養成所のここが気になる！ Vol. 4 公立春日井小牧看護専門学校・池西静江／小倉明美

臨床判断能力の育成！

実践的な思考を促す事例づくり試案 第4回 ..... 奥 裕美／畠山有希

情報処理・パソコンリテラシーの授業展開

ICTを活用するための基礎的能力育成に向けて 第4回 ..... 友滝 愛／[監修] 政岡祐輝

臨床倫理を映画で学ぼう！ plus 第4回 ..... 浅井 篤

看護教育 第63巻3号 (通巻754号)

2022年6月25日発行 (年6回発行)

発行：株式会社医学書院

代表者：金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776

メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当：番匠・坂元・野中・近江

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2022, Printed in Japan

印刷：株式会社双文社印刷

1部定価 2,750円 (本体2,500円+税10%)

2022年年間購読料 (送料弊社負担、年6冊)

冊子+電子版/個人：16,500円

(本体15,000円+税10%)

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為 (複写、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

## JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp) の承諾を得てください。

「看護教育」は株式会社医学書院の登録商標です。

## 編集後記

特集で執筆いただいた總山萌さんには、昨年冬に開催された (一社) 看護学校協議会の副校長会にてお会いしました。若くしてご自身の道を探しながら、しっかりとメッセージを伝えるご活動にも感銘を受けましたが、会長の水方智子先生が、ご自身のご講演時間の半分を總山さんたちにお渡ししていたことに大変驚きました。近頃、学会や研修会でも、若い方のご発表が増えていると感じるのは私だけでしょうか。小誌でも、ベテランの先生方のご実践や想いとともに、新しい息吹もお届けできればと思っています。(番匠)

この春より本誌の担当となりました野中と申します。看護教員の皆様のお役に立てる誌面づくりを心がけたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。昨今、大手企業を中心に転勤や単身赴任を見直そうとする動きがみられ、社会全体でグローバルからローカルへ、トレンドの揺り戻しが起きているようです。地域で育ち、学び、働くという、いわば地域密着型の生き方が求められているように思います。ところで私は学生時代も働きだしてから同じ地域で過ごしています。この流れはそんな私の生き方を肯定してくれるようで、とてもうれしいです。(野中)

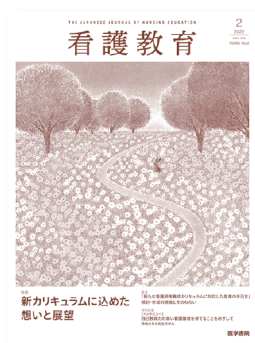
新担当の坂元と申します。9年前に入社、SP課に配属され広島県と四国4県の看護学校を中心に教科書営業を行っていました。その節、先生方の温かな言葉・姿が心に残り、小誌を通じあらためてお近づきとなれたことを縁に感じます。さて、本号テーマは「地域とつながる」。能の演目には諸国一見の僧がよく登場し、里人 (実はその地の伝説にある神や人の化身・亡霊) への声かけから、幽玄の物語が始まります。実体的・精神的にも、新しい世界が開けるきっかけは会話、それこそ一言「あの、すみません」で十分なのかもしれません。(坂元)

# BACK NUMBER

## バックナンバーのご案内

2022年2号

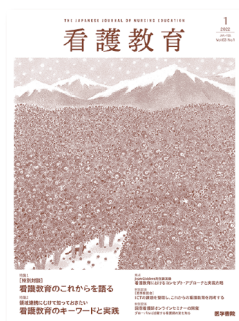
### 特集 新カリキュラムに込めた想いと展望



保健師助産師看護師学校養成所指定規則の第5次改正では、指定規則に則りながらも画一的ではない、柔軟なカリキュラム編成が求められました。それを受けて2022年度からは、地域性や学校の設立趣旨、理念などを十分に反映したカリキュラムが実施されます。特集では、さまざまな教育機関の先生にご登場いただき、新カリキュラムの内容に加えて、そこに込めた想いやこれからの展望について紹介いただきました。

2022年1号

### 特集1 〔特別対談〕看護教育のこれからを語る 特集2 領域連携にむけて知っておきたい 看護教育のキーワードと実践



特集1では、さまざまな立場で看護基礎教育に携わられている先生方に、これまでの教育や現状を振り返るとともに、今後の展望について対談形式でお話いただきました。／特集2では、各看護学領域を指導されている先生方に、国家試験や教科書の内容などもふまえて、近年の教育内容を紹介いただきました。

2021年12号

### 特集 教育機関と医療機関の協働による 「これからの実習」



神戸大学病院医学部附属病院で開発された模擬電子カルテシステムを用いた複数施設の取り組みを、教育機関・医療機関の両側から解説。コロナ禍の経験を経た「これからの実習」について考えます。

2021年11号

### 特集 学生・教員を守る ハラスメント対応



ハラスメントは、すべての教育機関にとって「他人事」ではありません。本特集では、心理士、弁護士など、専門家の視座もふまえながら、組織としての目線を大切にしたいハラスメント対応についてご紹介します。

2021年10月

### 特集 ウィズコロナ時代に向けた 新人看護師・看護学生への支援



新人看護師が安心して学べる環境づくりは急務です。大学・専門学校・病院が連携し、県をあげてコロナ禍での看護師育成支援を行っている兵庫県を取り組みを紹介します。教育や研修におけるニューノーマルのヒントに！

## バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・お電話にて TEL：03-3817-5659（医学書院 販売・PR部）

○ 2020年6号（Vol. 61 No. 6）以前の号についてのご注文や在庫の照会  
は下記へお問い合わせください。  
株式会社東亜ブック TEL：03-5947-4781 FAX：03-3923-4539  
<http://www.toabook.com>